



病児保育所おひさまルームは山形済生病院に併設しています。
感染予防対策の情報を発信していきます。

これから夏にかけて流行する小児感染症について

初夏は夏風邪や皮膚疾患など、夏特有の様々な感染症が子どもの間で増える時期です。中でもヘルパンギーナ・手足口病・プール熱(咽頭結膜熱)の3つは子どもの「三大夏風邪」ともいわれるウイルス感染症で、夏に流行しやすいのが特徴です。それぞれ主な症状と予防対策をまとめます。

①ヘルパンギーナ

高熱と喉の奥の水ぶくれや赤みの特徴で、強い痛みから食事がとりにくくなります。

②手足口病

手のひら・足の裏・口の中に発疹や水ぶくれが出ます。発熱は軽度なこともあります。

③プール熱(咽頭結膜熱)

高熱・喉の痛み・目の充血(結膜炎)が特徴で、プールの水やタオルの共用を介して感染することもあります。



【予防対策】

これらの感染症は主に接触感染(手や物を介する)・飛沫感染(咳・くしゃみ・会話)によって広がるため、予防にはこまめな手洗い・うがいの徹底が基本です。特に外出後や食事前の手洗いを習慣づけましょう。まれに大人も感染することがありますので、タオルや食器の共用は避けるなどが重要です。

また、十分な睡眠とバランスのよい食事で免疫力を保つことも大切です。

プール利用後はシャワーを浴び、

目をこすらないようにサポートしましょう。

発症した場合は無理に登園・登校せず、

早めの休養が感染拡大防止につながります。

症状がある場合は早めに医療機関に相談してください。



かわいいかくれんぼ



ひよこがね
おにわでぴよこぴよこかくれんぼ
どんなにあんよが みえてるよ
だんだんだれが めっかった



すずめがね
おやねでちょんちょんかくれんぼ
どんなにじょうずにかくれても
ちやいろのぼうしが みえてるよ
だんだん だれがめっかった

こいぬがね
のはらでよちよちかくれんぼ
どんなに じょうずにかくれても
かわいいしっぽが みえてるよ
だんだんだれが めっかった



山形済生病院 病児保育所



おひさま ルーム

〒990-0818 山形市沖町79番3

TEL・FAX: 023-674-8856

HP<https://www.ameria.org>

開設日: 月曜日から金曜日

(祝日・年末年始除く)

8:30~17:00

対象児: 1歳から小学校6年生

配置職員: 看護師・保育士

